

事務事業名	農道保全対策事業(雲南飯石地区負担金)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	農林道G	
	施策名	〈36〉農業の振興		担当者名	今岡 久	
	目的	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	電話番号	0854-40-1053
	目的	担い手農家・担い手以外農家	意図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。	(内線)	2401
	基本事業名	〈108〉農業基盤の保全		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0:1:3:0:0:6: 県営農道整備事業 項 目 中事業 中事業名 0:5:6:5:3:7: 農道保全対策事業負担金	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H29 年度～ R3 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
事業主体は島根県 飯石広域農道の雪崩対策、法面保護、橋梁補修、路面補修を行う。 負担率25%

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動) 事業費調整(負担金支出)、地元調整		元年度計画(元年度に計画する主な活動) 事業費調整(負担金支出)、地元調整		
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
ア	事業費(負担金)	千円		24,100	31,000	20,000
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	農業従事者	ア	受益面積	ha		1,583	1,583	1,583
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)		
農道の安心安全な通行や維持管理を図るため、保全対策を実施する。	ア	雪崩対策工	箇所		2	2	2	
	イ	法面保護工	箇所		1	0	1	
	ウ	路面補修	m		261	850	500	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	雲南飯石地区 事業費:124,000千円 市負担:31,000千円(25%)		② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円					
		地方債	千円		24,100	31,000	20,000	
		その他	千円					
		一般財源	千円					
		事業費計(A)	千円		24,100	31,000	20,000	
	人件費	正規職員従事人数	人		1	1		
		延べ業務時間	時間		100	20		
		人件費計(B)	千円		408	87		
	トータルコスト(A)+(B)	千円		24,508	31,087			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
H28年度に道整備交付金事業に申請し認定を受けた。要望額通りの割当がないため、5カ年の事業期間で完了するか不透明。	特になし。	地元からは早期の完成を望む声が多い。

事務事業名	農道保全対策事業(雲南飯石地区負担金)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		理由 農道の安全性や災害対策を図り、恒常的な維持管理を目的とするため。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 災害による施設の崩壊や交通事故は人命にかかわるため必要不可欠な事業である。また、補助事業でなければ単独費となる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒ ↳ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	
E 評価 の 総 括	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由 修繕にしても、オーバーレイなど安価な工法はあるが、耐用年数が短く再度修繕が必要になるため、十分に調査し、舗装基準に適した工法を精査する。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 県営事業のため、もともと業務時間は少ないので削減余地は無い。	
F 評価 の 総 括	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由 農道の現地調査を行った上で、県営事業により実施されているため、公平である。
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	
	① 1次評価者としての評価結果		
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	通行者の安全性、農作物等の運搬作業軽減のため、継続的の実施が必要とされている。県営事業であるため、農道整備が完了するまで継続的に整備要望が必要である。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
低下		×	×																	
	県と連携し、引き続き円滑な事業進捗に努める。																			